

梅雨の御陵園

クチナシの花が甘い香りを漂わせています。

クチナシ *Gardenia jasminoides* Ellis (アカネ科)

## クチナシの花

梅雨入りの前後、御陵園ではクチナシの生垣に白い花が咲きはじめ、その花からは甘い香りがふわりと漂います。

思わず作業の手を止めてしまうほど魅力のある香りです。小さな虫たちも香りに誘われたのか、花を訪れていました。

クチナシはアカネ科の常緑低木で、日本の静岡県以西や台湾、中国南部、東南アジアなどに分布するとされています。

花が咲き、そのあとに果実が結実します。果実は秋になって熟すと黄赤色になり、この果実が生薬として利用されます。生薬の名は山梔子（サンシシ）といい、鎮静、消炎、利胆などに用いられます。

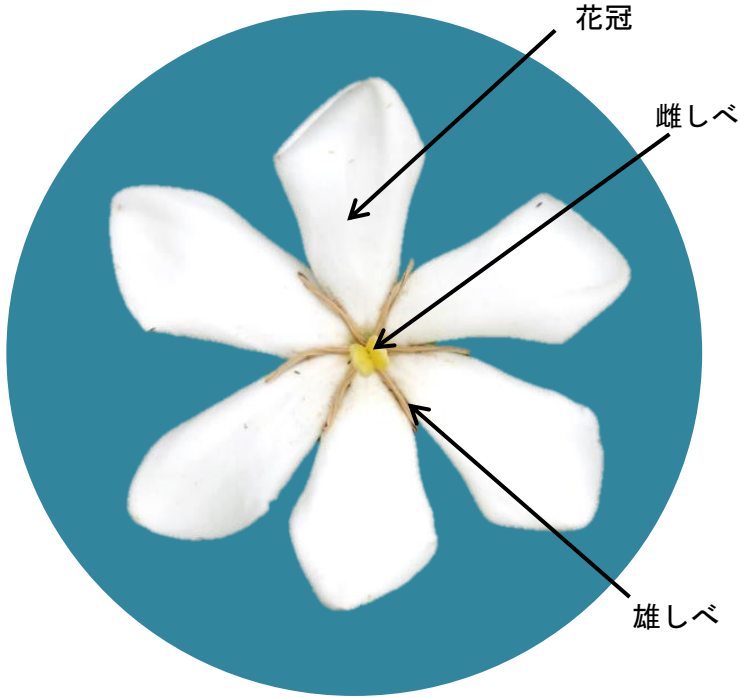
この果実は、カロテノイド色素のクロシンを含んでおり、黄色の着色料としても用いられています。栗きんとんや沢庵、そのほかにも様々な食品の色付けに利用されています。

梅雨時期に漂う甘い香りを味わい、秋に果実が熟すまでの過程を観察したり、果実の色素が何に用いられているのかを調べてみるのはいかがでしょうか。





クチナシをじっくり観察してみましょう。



### クチナシの花

- ・花冠は白色で直径 5~10 cm。6~7 裂する。
- ・雌しべは中央にあり、棍棒のような形。
- ・雄しべは花冠の裂片と裂片の間につく。

葉の先は  
やや尖る

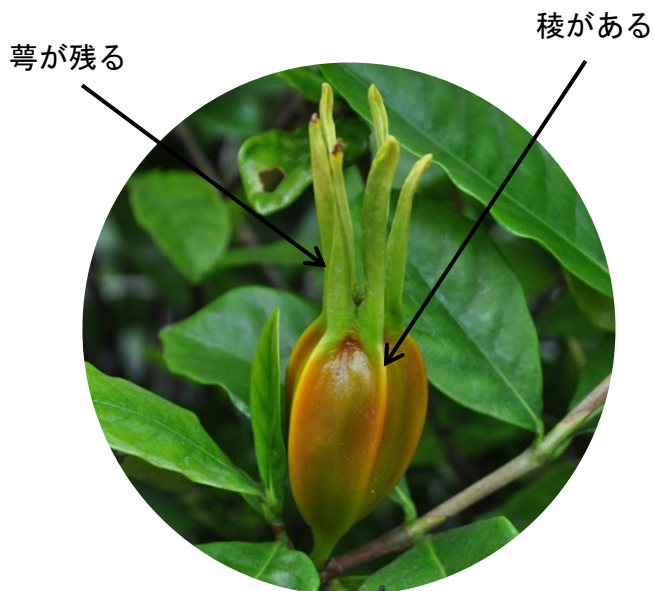


光沢がある

葉柄は短い

### クチナシの葉

長さは 12 cm 程度で、表面に光沢があり、つるつるしている。葉柄は短い。



### クチナシの果実（秋に色づく。）

夏には果実がみられ、緑色をしている。秋になると黄色くなってきて、その後は赤色を帯びてくる。

萼は除去される



### 山梔子（サンシシ）

クチナシの黄変した完熟果実を用いて作られた生薬。萼と果柄は除去される。





## PHOTO GALLERY



コガネバナの花

青紫色の花が咲いています。周皮を除いた根が黄芩という生薬になります



トウキの花

白い小さな花が多く咲きます。根が当帰という生薬になります。



アカメガシワの葉

丸くて大きい葉が目立ちます。葉身は約 25 cmで、葉柄も含めると 50 cmにもなります。



ウイキョウの花

黄色い小さな花が多く咲きます。果実が茴香という生薬になります。葉には香りがあります。



アマチャの花

青紫や赤紫の花を咲かせています。発酵させた葉が甘茶という生薬になります。



コンニャク

みずみずしい葉を観察することができます。食材としてとても馴染み深い植物です。